

令和6年度 大学生の力を活用した集落復興支援事業

調査研究報告書

(2年目)

福島県伊達市梁川町栗野地区

公立大学法人 宮城大学 伊達ななかまたち

令和7年2月

目次

1. はじめに
2. 栗野地区の概要
3. 活動スケジュール
4. 栗野次世代若者育成プロジェクト
5. ドローン体験講座
6. おわりに

1. はじめに

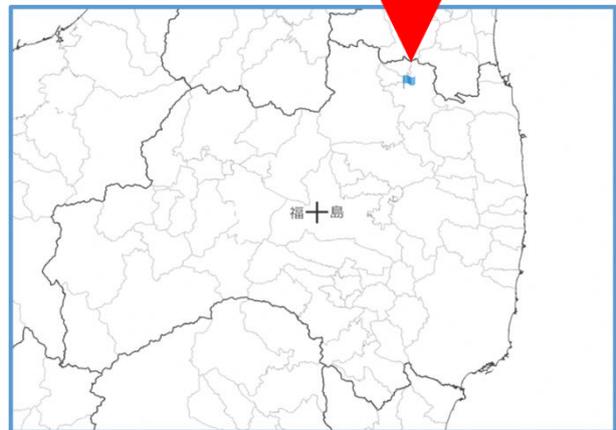
私たち、伊達ななかまたちは、宮城大学と東北公益文化大学の学生からなるグループである。本事業の実施にあたり、栗野地区交流館、栗野地区自治会、栗野地区町内会、栗野小学校の方々に多大なご協力を賜った。1年目の活動から抽出した課題に対して、我々が行った取り組みを以下に記述する。

2. 栗野地区の概要

栗野地区は、福島県伊達市の北西部に位置している。東に広瀬川、西に阿武隈川が流れ、山一つない平坦な地形から、農地として優良な土地を有している。また、自治組織独自でスポーツや婚活事業など、様々な活動を行っている地域である。伊達桑折 IC から車で 15 分、梁川町内には阿武隈急行梁川駅があり、比較的アクセスのよい場所に位置している。

地理情報などは以下のとおりである。

【土地面積】	5.52k m ²
【人口】	1, 876 人
【世帯数】	663 世帯
【高齢化率】	43.8%



また、事業にあたり集落側がとらえていた集落の現状と課題は以下のとおりである。

- ・ 栗野地域の人口減少
- ・ 農業従事者の後継者不足
- ・ 未婚者増加
- ・ 空き家の増加, 空き家対策
- ・ 小学校の存続などが心配される状態

3. 活動スケジュール

令和6年度に行った活動は以下のとおりである。

- 5月24日 粟野地区役員会にて事業説明と意見交換
- 7月20日 粟野次世代若者育成プロジェクト 募集開始（～8月31日）
- 10月10日 実証事業に関する打合わせ
- 11月9日 3世代交流事業への参加
- 11月10日 ドローン体験講座（実証事業）
- 1月18日・19日 粟野地区新年会への参加
- 2月8日 活動報告会
- 2月27日 次年度に向けた意見交換

今年度のメインとなる活動は「粟野次世代若者育成プロジェクト」と「ドローン体験講座」となった。それぞれの具体的な内容については以下で記述する。

4. 粟野次世代若者育成プロジェクト

【概要】

「粟野次世代若者育成プロジェクト」とは、地域の課題解決や若者の交流、リーダー育成などの活動を通じて地域の魅力を再発見し、未来を明るくすることを目指す取り組みである。若者がリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献する機会を提供し、地域の成長と発展に寄与することをねらう。

募集期間 中学生から 30 代の方

募集条件 2024 年 7 月 20 日（土）～8 月 31 日（土）

活動期間 2024 年 9 月～11 月

昨年度の取り組みでは、「粟野地区まちづくりアンケート調査」を実施した。その分析結果から、取り組むべき課題を「若者の活躍の場づくり」、「若者同士がかかわりを持てる場づくり」、「関係人口増加」とした。

今年度はそれらに対処するため、「粟野次世代若者育成プロジェクト」を実施した。これからの粟野地区を引っ張る存在となる若者を発掘したいという思いから、粟野地区でやってみたいこと、知ってもらいたいことがある住民を募集し、活動を応援する取り組みである。プロジェクトの募集には、以下のチラシを使用した。（図 1）配布は粟野地区自治会にご協力を頂いた。

プロジェクトには 1 件の応募があり、福島大学 3 年の松本さんのアイデアをサポートすることとなった。松本さんは、粟野地区の風景をドローンを用いて後世に残し、地域の魅力を再発見する活動に取り組んでいる。我々は、彼の活動に興味と関心を持ってもらう場をつくることで支援することとした。

図1 「粟野次世代若者育成プロジェクト」のチラシ

「じぶんのまち」の未来を変えてみませんか。



福島県伊達市梁川町粟野

福島県大学生事業

共に歩む未来へ —— 粟野次世代若者育成プロジェクト

素敵なアイデア募集！

粟野次世代若者育成プロジェクトとは

地域の課題解決や若者交流、リーダー育成などの活動を通じて地域の魅力を再発見し、未来を明るくすることを目指しています。若者がリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献する機会を提供し、地域の成長と発展に寄与します。

募集期間 2024年7月20日(土)～8月31日(土)

募集条件 中学生から30代の方

活動期間 2024年9月～11月

企画：伊達ななかまたち 協力：粟野地区自治会 問い合わせ：p21200026@myu.ac.jp

応募方法は裏面へ！▶

5. ドローン体験講座

実施日：2024年11月10日

場 所：粟野交流館

参加者：小学校低学年～大人 計15人

【概要】

本講座ではドローンに関心を持ってもらうことに加え、ドローンを活用した活動を行う松本さんの取り組みを知ってもらうことで、地域からの応援の気運を高めることを目的とした。

iPadを使用した簡単なプログラミングによるドローン操縦体験を実施した。宮城大学石内鉄平准教授を特別講師として迎え、操縦方法だけでなく、ドローンに関する法律や活用方法についての講義も行った。また松本さんの活動紹介として、町の空撮映像の視聴を通じて、松本さんの地域活動に対する理解を深めた。

【事後アンケート結果】



講座終了後のアンケートでは、以下のような意見が寄せられた。

- ・実際にドローンを動かすことで楽しさを実感し、今後もドローン関連のイベントに参加したいと思った。
- ・新しい機械やツールを活用して、地域社会に役立ててほしいと感じた。
- ・プログラミング通りにドローンが動くことに驚き、技術の凄さを実感できた。

【松本さんのコメント】

- ・地域の方に自身の活動を知ってもらえたことが大きな収穫だった。
- ・アンケートの意見から、活動が地域にどう貢献できるかを深く考えるきっかけになった。
- ・今回の講座を機に、今後の活動を地域活性化につなげていきたい。



【成果】

計 15 名の住民が参加し、和気あいあいとした雰囲気で開催することができた。ドローンという最先端の機器を用いて、地域に対して考えるきっかけを提供することができた。特に、松本さんの取り組みについて注目を集める機会をつくることができたのは、大きな一歩であったと考えている。地域を持続可能なものにするには、若者が活発に地域に包含されることが重要であり、地域にもまたそれを受け入れる姿勢が求められるからである。そういった意味でも、地域で活動する若者にスポットライトを当て、それに関連する知識を地域住民が持つことは必要である。今回は、そうしたきっかけを提供することができた。

これからも継続した世代の担い手の発掘と、その支援が求められる。

「ドローン体験講座」のチラシ

プログラミングを
楽しく
学ぼう！

初心者向け 

ドローン体験講座

2024年 11月 10日 日 

10:00～12:00

参加費
1人 300円
お茶・お菓子付き

プログラミング
プログラミングの基本を、ドローンを用いて学びます。論理的思考力が養われます。

ドローン操縦体験
プログラミングによって動くトイドローンを体験できます。思い通りに動かせるかな？

松本さんの取り組み
福島大学3年松本さんはドローンを用いて栗野の風景を映像に残す取り組みを行っています。

定員 24名程度（小学4年生以上が目安）
大人もちろんOK！

講師 石内鉄平 宮城大学准教授

会場 栗野交流館
梁川町二野袋昭和3-2



＼ 参加の方は下記コードからお申し込みください ＼

申込コード



お問い合わせはこちら

mail p2120026@myu.ac.jp 担当 稲葉
主催：伊達ななかまたち（宮城大学）
共催：栗野地区自治会

6. おわりに

2年目の活動では、1年目の活動から抽出した課題解決に向けた取り組みを実施した。こうした取り組みを一過性のものにせず、地域の持続的な発展につなげていくためには、若者の継続的な関与と育成が不可欠である。具体的には、若者のまちづくりへの継続的な参画の促進、若者同士のコミュニティ形成の支援、そして地域住民との交流の強化が重要となる。これらの取り組みを積み重ねることで持続可能で活力ある地域社会の実現に向けた取り組みを推進していきたい。

栗野地区の皆さまには、この2年間大変お世話になりました。調査や活動を通じて、多くのことを学ばせていただき、また温かく迎えてくださったことに心より感謝申し上げます。

共同代表

宮城大学 4年 稲葉公成 新森美和子